

## ■ 管理法 … 傷病者の管理の仕方

### はじめに

管理法とは名前の通り傷病者を管理する方法のことです。危険な場所にいれば移動させて安全を確保する。体温が下がらないように保温する。楽な姿勢にさせて体位を管理する。など様々な管理方法があります。傷病者の状態に合わせて適切な管理方法を試みましょう。

### 安全管理

■ 安全管理には2つの意味があります。

- ① 救助を行う人自身が安全であること
- ② 救助される傷病者が安全であること この2つです。

まず自分自身を守らなければ人を守ることはできません。状況に合わせて安全を確保し無理をしないように自分と傷病者の安全を管理しましょう。

### 体温管理

■ 傷病者に震え、悪寒、体温の低下、顔面蒼白、唇が白色や紫色に変色、冷汗などが見られる場合は傷病者の体温が逃げないように乾いた毛布や衣服で保温します。

#### ○ ポイント

- ・冷たい地面に寝かせる時は身体の上に掛ける物より下に敷く物を厚くします。
- ・服が濡れている時は脱がせて身体を拭いてから保温します。



### 体位管理

■ 傷病者に適した体位(姿勢)を保つことは、呼吸や血液の循環を維持し、苦痛を和らげ症状の悪化を防ぐのに有効です。

※この時、無理に体位の強制をしてはいけません。

あくまでも傷病者が望む最も楽な姿勢にして安静を保つことが基本です。

#### □ 仰臥位 ぎょうがい

- ・全身の筋肉に緊張を与えない自然な姿勢です。
- ・心肺蘇生法に適しています。



#### □ 膝屈曲位 しつくつきょくい

- ・仰臥位で膝と頭を上げた体位です。
- ・腹部の痛みを和らげるので腹部外傷や腹痛に適しています。



### □ 腹臥位 ふくがい

- ・腹ばいで顔を横に向けた体位です。
- ・嘔吐がある時や背中にケガをしている時に適しています。



### □ 半座位 はんざい

- ・上体を軽く起こした体位です。
- ・胸痛や呼吸苦のある傷病者頭にケガをしている場合や脳の血管に障害がある場合に適しています。



### □ 座位 ざい

- ・座った体位です。
- ・胸や呼吸の苦しさを訴えている傷病者に適しています。



### □ ショック体位

- ・仰臥位で足を高くした体位です。
- ・貧血や大量出血などで体内の血液が失われた傷病者に適しています。



### □ 回復体位 かいふくたいい

- ・下あごを前に出し、上側の手の甲に傷病者の頭を乗せさらに上側の膝を約90度曲げ傷病者が後ろに倒れないようにする体位です。
- ・反応はないが普段通りの呼吸をしている傷病者に適しています。
- ・嘔吐にも対応できます。

